

震災文庫

阪神淡路大震災に関するあらゆる資料を収集します。

被災地にある図書館の責務として、阪神淡路大震災発生から9ヶ月後の1995年10月に公開し、今年で23年目を迎える文庫です。収集資料は図書や雑誌だけでなく、写真やチラシ等多岐にわたり、所蔵資料数は5万6千件を超えます。そのうち約5千件はデジタルアーカイブでも公開しています。また、個人のご利用だけでなく、授業での利用や図書館や博物館関係者の見学等、団体でのご利用も広く受け入れています。

高校の授業での利用風景

